



前回の特集「地球温暖化」に対して市民128人から546件の意見をいただきました。
代表的なものを紹介します。

(1) 地球温暖化を防ぐために私たちは何ができると思いますか？

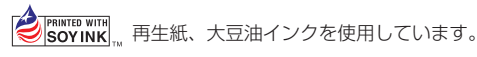
- 今、「もったいない」という考えが見直され、世界中に日本の「もったいない」ということばが広がっている。物を大切にすることを育て、資源を浪費することは良いことではないという考えが定着すると思う。(雀宮2丁目 30代)
- 歩道・自転車道の整備や公共交通機関を充実させるなど、生活拠点と商店・病院などとの距離を短くすることで、マイカーに頼らなくて済むまちづくりをすること。(末広 60代)
- 資源をどれだけ消費しても「大丈夫だ」という気持ちが地球をここまでにしてしまった。一人ひとりが気持ちを入れ替え、小さなことでも意識していけば地球はいい方向に向かっていくと思う。(鶴田町 20代)
- 家庭では親である私を中心に家族全員の習慣としていくことがスタートだと思う。(豊郷台 50代)
- 環境教育として学校などで、節電やごみの分別、車に代えて自転車や公共交通機関を利用することの大切さを伝え、市民一人ひとりが確実に実践していくようにすること。(築瀬4丁目 30代)
- お風呂の残りの水を洗濯に使う、雨水をためて打ち水に使う。(長岡町 10代)

(2) 地球温暖化を防ぐためにあなたが実践していることを教えてください。

- 我が家では、昼間は誰もいないので電話・冷蔵庫以外はコンセントを抜いている。子どもたちにはケチと言われるが、エアコンのコンセントも脚立を使って抜いている。(下岡本町 40代)
- リビングの前に芝生、家の周りには草花を植えて季節を感じながら楽しんでいる。風が吹くと気持ち良い風が家の中に入ってきて、気持ちの良い節電をしている。(中戸祭町 60代)
- 買い物にはマイバッグを持参し、包装を断るようにしている。(中岡本町 50代)
- 太陽光発電を平成15年から使用しているが、誰もが使用できるように費用がもっと安くなると良いと思う。(下岡本町 60代)
- 車の使用回数を減らし、自転車、徒歩、公共交通機関を利用するようにしている。(鑑山町 60代)
- 節電、節水、リサイクル(牛乳パック、食品トレイなど)を実践している。(市内 20代)

広報 **うつのみや** 特集号は、皆さんと一緒に考えていただきたいテーマを取り上げ、年4回発行します。
また、毎月1日発行の通常号の次回(10月号)は、10月1日配布です。

広報 **うつのみや** 特集号はホームページでも見られます。
<http://www.city.utsunomiya.tochigi.jp/>



前回の特集「地球温暖化」の概要



「地球温暖化」の現状
地球の平均気温は、1900年(明治33年)に比べて約0.74℃上昇し、近年はより温暖化が加速している。産業革命以降、人類は石炭や石油などの化石燃料を大量に燃やしながら、便利な生活を営んできた。その結果、代表的な温室効果ガスであるCO₂が大量に大気中に排出されてきており、排出が現在のペースで続くと、2100年までに2.4℃～6.4℃も年平均気温が上昇すると予測されている。(IPCC第4次評価報告書より)

もう先へは延ばせない温室効果ガス排出抑制の取り組み
市では、温室効果ガス排出量が1990年度に比べて大幅に増加している状況を踏まえ、2012年度の温室効果ガス排出量を、2003年度比17%の削減を目指している。
現在の地球や資源は、現代に生きている私たちが祖先から引き継ぎ、将来の世代に引き渡すために一時預かっているものに過ぎない。現在の地球を良好な状態にして未来へ引き継ぐために、一人ひとりが高い意識を持ち、できることから実践していくことが必要である。

郵便はがき
料金受取人払
3208740

宇都宮中央局
承認
3017

差出有効期間
平成22年7月
14日まで
【切手不要】

(受取人)
宇都宮市旭1丁目1番5号
(宇都宮市役所)
宇都宮市総合政策部広報広聴課
行

3208740 3

氏名	住所
年齢 歳	職業

差し支えがなければ記入してください。広報紙で意見を紹介する際には、氏名の記載はしません。なお、はがきの情報については、目的以外には使用しません。